

# [シラス]

## 1. 経年経過及び平成17年7～8月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成11年の6,060トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14、15年と1,000トンを下回り低調に推移しました。平成16年は3,507トンと好漁の年となりました。志布志湾海域では平成12年の1,407トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14年は396トンまで減少しましたが、平成15年は842トンまで増加し、平成16年は1,204トンと好漁の年となりました。

今期の西薩海域では、カタクチシラス主体に297.3トンの水揚げで、前年の99%、平年の100%でした。志布志湾海域では、カタクチシラス主体に444.1トンの水揚げで、前年の98%、平年の145%でした。

## 2. 平成17年10～12月期の見とおし

漁獲の主体は、カタクチシラスでしょう。来遊量は、西薩海域、志布志湾海域とも平年を上回り、前年並みでしょう。

(根拠)

前期の漁模様との相関から今期の漁獲量は比較的高い水準で推移すると考えられます。

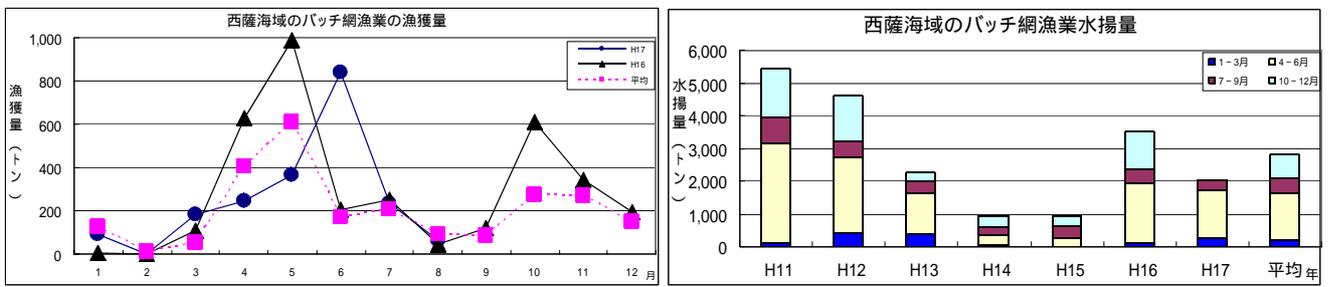


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(4漁協計)

平年値は過去5年(平成12～16年)の平均値、平成17年8月までの水揚量を使用。

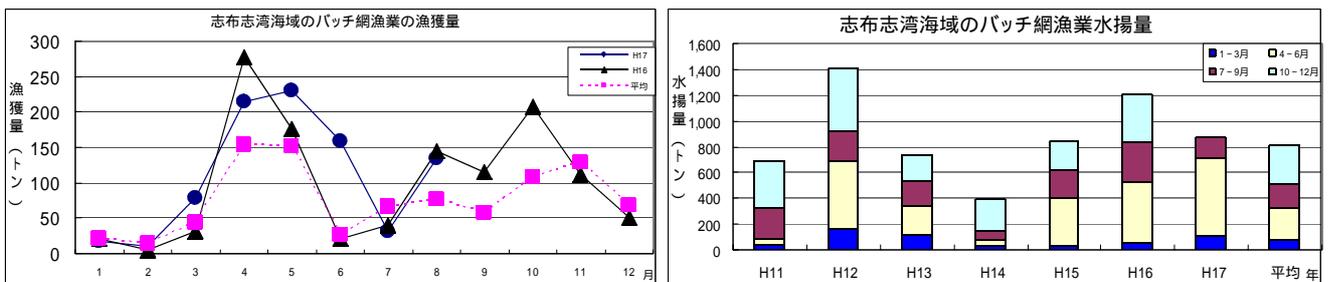


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成12～16年)の平均値、平成17年8月までの水揚量を使用。